

# 館山塾報



〒101-0061

東京都千代田区三崎町二一八―九二葉第三ビル2F  
 (〇三) 三二六四―八六三八  
 (〇三) 三二六四―八六三六 館山塾  
<http://www.tateyamajuku.com/>

contents

夏期講習詳細…………… 2面 夏期不受講の諸君…………… 3面  
 前期終了試験…………… 3面 講師のページ…………… 4～6面

お知らせ

保護者面談(中学の部)・個人面談(高校の部)

★保護者面談(中学の部)・個人面談(高校の部)

保護者面談、個人面談を実施します。塾での学習の様子、夏休みの学習の指針について、各科目担当講師(中三及び高校生はチーフ)が個別にアドバイスします。中学生は提出された面談申込書をもとに日時を決定し、七月上旬にお知らせします。また高校生は、チーフと相談して面談日時(個人面談)を決定します。

★個人記録カードの提出について

個人記録カードをまだ提出していない諸君は、面談が受けられませんので、早急に提出して下さい。

★入試情報

高校・大学入試説明会に関するお知らせは、随時お知らせしています。

★中三模擬試験のお知らせ

七月の模試の受付は終了しました。次回は九月以降の模擬試験(進研・駿台)を受付けます。模試の結果は、志望校決定の資料として利用できるほか、推薦入試の資料としても活用できます。詳細は、各回の締切前に教室で配布します。

★高三対象オプション講座について

夏期講習期間中、通常の講習以外に、高三生の希望者を対象とした講座を開設しています。各自の講習日程と組み合わせ、実力アップに是非活用して下さい。

|     |                   |
|-----|-------------------|
| 期間A | 八月十八日(水)～二十一日(土)  |
| 期間B | 八月二十三日(月)～二十六日(木) |

| 科目        | 担当   | 期間  |
|-----------|------|-----|
| 現代文       | 三輪裕治 | 期間A |
| 古典        | 胡子俊英 | 期間B |
| 世界史       | 佐治 恵 | 期間A |
| 日本史       | 佐治 恵 | 期間B |
| 数I A      | 熊倉幹男 | 期間A |
| 数II B     | 熊倉幹男 | 期間B |
| 数III C    | 松山秀行 | 期間A |
| 数I II A B | 松山秀行 | 期間B |

詳細は、同封の「オプション講座のお知らせ」(教室で生徒諸君にお渡ししているものと同じものです)をご覧ください。

7月～8月の予定

中高共通

|                      |            |
|----------------------|------------|
| 七月十七日(土)……………        | 平常講義終了     |
| 七月十八日(日)～十九日(月)…………… | 面談(中学の部)   |
| 七月二十三日(金)～二十六日(月)    | 夏期講習期間①    |
| 七月二十八日(水)～三十一日(土)    |            |
| 八月二日(月)～五日(木)        | 夏期講習期間②    |
| 八月七日(土)～十日(火)        |            |
| 八月十一日(水)～十七日(火)…………… | 休講期間       |
| 八月十八日(水)～二十一日(土)     | 夏期講習期間③    |
| 八月二十三日(月)～二十六日(木)    |            |
| 八月二十七日(金)……………       |            |
| 八月二十八日(土)……………       | 前期終了試験(高三) |
| 八月三十一日(火)……………       | 平常講義開始     |

☆補講について

中学生及び高校一・二年生を対象に、講習以外の期間(期間③)に、補講期間を設けています。これは、夏期講習をより一層実り多いものにするための個別指導を行う期間です。詳細は、2頁をご覧ください。

ＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳ

**夏期特別講習のお知らせ**

ＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳＳ

**一、期間** ～～～～

◎中学生 英・数・国 中三理社◎

※夏期特別講習の期間は、各科目、次の①、②のどちらか一方の八日間になります。

期間①：七月二十三日(金)～二十六日(月)

及び二十八日(水)～三十一日(土)

期間②：八月二日(月)～五日(木)

及び七日(土)～十日(火)

☆中三で理科・社会を選択する場合は、英・数・国とは別の期間で受講することになります。

(例えば、英数国が期間①なら、理社は期間②)

※中三演習講座

期間③：八月十八日(水)～二十一日(土)

八月二十三日(月)～二十六日(木) Aクラス

※中学生特別個人指導

期間③：八月十八日(水)～二十一日(土)

又は八月二十三日(月)～二十六日(木)

☆八月二十七日(金)は、期間①と期間②の受講者及び講習不受講者を含む全員を対象に、前期終了試験が実施されます。

◎高校一年生◎

期間②：八月二日(月)～五日(木)

及び七日(土)～十日(火)

◎高校二年生◎ 英数国は期間①

期間①：七月二十三日(金)～二十六日(月)

及び二十八日(水)～三十一日(土)

期間②：八月二日(月)～五日(木)

及び七日(土)～十日(火)

期間③：八月十八日(水)～二十一日(土)

及び二十三日(月)～二十六日(木)

◎高校一・二年生特別個人指導◎

期間③：八月十八日(水)～二十一日(土)

及び二十三日(月)～二十六日(木)

☆八月二十七日(金)は、高一・高二(講習不受講者を含む)全員を対象に、前期終了試験が実施されます。

◎高校三年生◎

期間①：七月二十三日(金)～二十六日(月)

及び二十八日(水)～三十一日(土)

期間②：八月二日(月)～五日(木)

及び七日(土)～十日(火)

期間③：八月十八日(水)～二十一日(土)

及び二十三日(月)～二十六日(木)

☆八月二十八日(土)は、高三生(講習不受講者を含む)全員を対象に、前期終了試験が実施されます。科目数の多い諸君は一部を二十七日(金)に実施します。

**二、クラス割** ～～～～

☆原則として平常のクラス編成のまま講習は行われますが、時間割の都合上、一部のクラスのみ、講習用クラスに編成されています。

各自のクラスは、教材とともに配布された講習クラス通知票を参照して下さい。

**三、特別個人指導** ～～～～

☆特別個人指導は、夏期講習受講者を対象に、講習以外の期間に個別指導を行うものです。学力に余裕のある諸君には発展演習を、部活動等で欠席して理解不十分な諸君には補習を、と担当講師が塾生一人一人の状況に応じて、講習の成果をより一層確実なものにするためのシステムです。講師の側から強制的に呼び出す場合の他、塾生諸君が自主的に参加して質問や自習を行う時間帯としても活用できます。利用に際しては、予約が必要です。

対象 中学生～高校一・二年生の講習受講者

(不受講者は3頁の『九、講習不受講の諸君』をご覧下さい)

科目 英語・数学・国語及び中三の理科・社会

期間 八月十八日(水)～二十一日(土)

及び八月二十三日(月)～二十六日(木)

☆特個の時間・教室等詳細は、講習中に書面で通知します。

☆特個は自主参加する場合も予約が必要です。予約に際しては各担当に直接申し出て下さい。

**四、自習室** ～～～～

対象 全員  
場所・時間 掲示でお知らせします。

## 五、講習用教材の配布

☆全学年、六月下旬から各教室で配布していただきます。十分に準備をした上、講習に臨むようにして下さい。

## 六、前期終了試験

—中学生及び高校一・二年生—

☆八月二十七日(金)に、中学生・高校一・二年生全クラスを対象に前期終了試験を実施します。

☆試験科目は、中学生は英・数・国の三科目(中三のみ理科・社会選択者は、五科目)、高校生は英・数・国の受講科目及び日本史・世界史・物理Ⅰです(日本史・世界史・物理Ⅰは高2の日程に合わせて試験を実施します)。

☆中学生で単科受講者は、受講科目のみの試験となります。

☆試験の時間等の詳細は、各自の受験票(八月中旬に郵送)でお知らせします。

☆試験は、既習全範囲の実力試験です。

—高校三年生—

☆八月二十八日(土)に前期終了試験を実施します(受講科目の多い諸君は一部二十七日

(金)に実施)。

☆試験科目は各自の受講科目です。物理総合、化学総合及び英語(英文解釈と英作文法)は二講座で一つの試験となります。

☆試験の時間等の詳細は、各自の受験票(後日配布)でお知らせします。

## 七、中三演習講座

☆中三生を対象に、講習とは別に、A・Bそれぞれのクラスに対応した演習講座が四日間、開設されます。

☆演習講座では、入試に即応した演習と解説が行われ、毎日、3科又は5科の成績表が渡されます。

☆各自の受講科目数に応じて、3科又は5科で実施されますので、特別な申し込みは必要ありません。

☆平常理社を受講していない場合でも、演習のみ理社の受講が可能です。受講を希望する場合は、事務までお申し出下さい。

## 八、後期クラス編成

☆前期が終了する八月の時点で、三月からの平常の成績及び総合試験の成績から、新たにクラスを編成します。なかでも、前期終了試験の成績が最も重視されます。

☆前期終了試験は、欠席するとクラス編成に支障をきたします。必ず受験して下さい。やむを得ぬ

事情で欠席する場合は、理由を明記した欠席届けを、事務まで提出して下さい。

☆欠席した場合は、必ず、振替受験日に受験することになります。

## 九、講習不受講の諸君

☆講習不受講であっても、既習全範囲の習熟度確認のため、前期終了試験を受験することになります。日時は、後日郵送される受験票で確認して下さい。

☆後期の講義にスムーズに参加するため、講習用の教材を購入して出来る限り自習しておいて下さい。購入は、事務まで申し出て下さい。

☆講習期間の特別個人指導は講習受講者を対象としたものです。不受講者は参加できません。講習不受講の諸君で質問等がある場合は、講習期間に個別指導(有料)の講座を別途設けますので、希望される諸君はお問い合わせ下さい。

なお、個別指導の担当講師は、講習時間割の関係で、ご要望に添えない場合がありますので、予めご了承下さい。

## 十、夏期休講日について

☆八月十一日(水)～十七日(火)以外の休講日については、年間カレンダー・塾内掲示板・ホームページなどでご確認下さい。

## ▲▽ 高校説明会報告 ▼▲

学習塾対象の高校説明会が実施されています。塾の先生のすすめで志望校、受験校を決めている受験生が多いこともあって、各高校とも熱の入った説明会を開催しています。以前から私立高校の説明会は頻繁に行われていましたが、都立高校の説明会も最近多くなり、内容も充実してきました。

五月、六月に実施されました主な高校の説明会の報告をいたしますので参考にして下さい。大学の合格実績、入試選抜の概要はおわかりいただけると思いますが、学校の雰囲気、教職員、生徒の様子などは実際に足を運んで初めてわかることが多いですから、ぜひ機会をみて学校見学等していただきたいと思います。

## 都立日比谷高校

報告者 三輪裕治

## 1、大学合格実績

東京大学 37 名(現役 19 名)合格という勢いそのままの自信に満ちた説明会でした。一学年約 320 名で、320 番台でも現役で慶應、1 浪で東大理 I への合格者も出ているようで、あきらめずに努力をしたものには最終的に結果はついてくるとの力強いお言葉(残りの 320 番台の生徒の進路についても教えていただければさらに説得力が増した? のですが)。50%が現役で国公立早慶に進学し、10%が上智・理科大・ICU、40%が浪人とのこと。平成 20 年の落ち込みはあったものの、ここ 6 年間で見れば実績は着実に伸びています。詳しくは日比谷高校の『学校案内』P14 の棒グラフを。

## 2、入学者選抜

①推薦入試 男子 33 名/女子 30 名の募集に対して、応募者はそれぞれ 139 名/125 名。そのうち、素内申 45(オール 5)だった者がそれぞれ 22 名/37 名! 「調査書 450 点/面接 170 点の 620 点満点」で選考するシステムのため、合格者の最低素内申は男子が 42 で 1 名、女子が 43 で 2 名とのこと。22 年度合否決定の際には男子の場合同点が 11 名もいたため、そこから規定通り「9 科観点別評価」で A が多い順に合格とし、それでもまだ同点がいたため自己 PR カードと面接内容の再吟味で合否を決定したそうです。

②一般入試(学力検査) 定員の 9 割が学力検査 70%調査書 30%の枠で、残りの 1 割が学力検査の得点のみの選考ですが、以下がその結果です。

|         | 国語 | 英語 | 数学 | 理社 |
|---------|----|----|----|----|
| 受験生全体平均 | 63 | 53 | 45 | 85 |
| 合格者全体平均 | 67 | 60 | 52 | 87 |
| 9 割枠平均  | 67 | 62 | 57 | 90 |
| 1 割枠平均  | ?  | ?  | ?  | ?  |

1 割枠の平均は非公表ですが、合格者全体と 9 割枠との差を見ると、(国語以外は)9 割枠よりも低いことが推論できます。

ちなみに、合格最低点は英数国 3 教科で 9 割枠男子 330 点/女子 310 点、1 割枠男子 330 点/女子 300 点とのことでした(これは 1 割枠に合わせて 2 倍した数字か? 正解率にすれば 55%~50%? 恥ずかしながら質疑応答タイムにこの点を聞き損ねたので、もし気になる御父兄の方がいらっしゃいましたら、私に代わってリベンジお願いします)。

自校作成問題のねらいについての分析は、館山塾の各教科担当まで直接お尋ね下さい。基本的には各教科とも東大二次試験を明らかに意識しているため、一貫して記述/思考力重視の方向性です。当塾の講師は高校受験だけでなく大学受験のプロでもありますから、そういう傾向は願ったりかなったりです。

## 3、その他

「希望する生徒像」に書かれていないキーワードとしては、「同時展開」「調整力」「見通す力」「自己回転型」か。塾生の自己 PR カード作成の際には、このあたりのエピソードを挿入できるように私からも責任を持って指導します。

また、平成 23 年に体育館の増改築、平成 25 年から本校舎改修工事の計画があるので、受験を考える方は念のため。

進路指導部主任「臼田浩一」先生のパワポを駆使した迫力あるプレゼンが素敵です。途中で瞬間的に映し出されるウェディングドレスを着た花嫁の写真には、どなたか勇気ある突っ込みを。

**海城高校**

報告者 熊倉幹男

水谷学校長の「来年度より高校募集を停止いたします。」という挨拶から始まりましたので呆然としてしまいました。今風に言えば、「聞いてないよ～」でしょうか、まさに寝耳に水でした。高校募集の停止の理由は学校長の説明によりますと、

1. 完全 6 年一貫教育を行う。
2. 大学受験の多様性に対応するため 6 年間かけた教育を行う。
3. 21 世紀の国際社会に通用する人材を育成する。

ということでしたが、停止するという事実がすべてでどう説明されても納得できるものではありませんでした。思えば、ずいぶんお世話になった高校ですが、我々にとってはあっけない幕切れでした。

**1、大学合格実績**

東京大学 49 名(現役 34 名)、一橋大学 23 名(現役 11 名)、東工大 17 名(現役 10 名)、東京医科歯科大 6 名(現役 6 名)、早稲田大学 215 名(現役 124 名)、慶應義塾大 173 名(現役 94 名)合格という、現役卒業生 380 名で相変わらず立派な合格実績です。早稲田、慶應の実質合格者は何名かという質問が出ましたが、把握出来ていなかったようです。予想すると現役合格者の合計 218 名ですから、実質は 100 名を少し超える程度ではないでしょうか。

**2、入学者選抜**

2 月 10 日試験、11 日発表、手続き締め切りは 11 日、都立発表まで待たないという強気の姿勢にはいろいろ批判もあると思いますが、募集 85 名に対して 504 名の応募があったということですから、やはり根強い人気がありました。合格最低点は 138 点、合格者は 234 名でした。

**3、その他**

男子の高校受験指導について、ポッカリ穴が空いた感じです。この穴を埋めるのは、城北高校か都立上位校となるのでしょうか。今年まで海城高校に入学していた上位層 100 名程度が、同じような難易度の高校に分散するのですから、注意が必要です。

**城北高校**

報告者 胡子俊英

**1、大学合格実績**

東大 20 名(現役 9 名)、東工大 17 名(11 名)京都大 4 名(4 名)、国公立医学部 25 名(11 名)、早稲田 132 名(81 名)、慶應 96 名(64 名)東京理科大 122 名(76 名)という実績は、過去三年で見てもまずまずの成績のようです。特にこの学年は医学部志望者が多かったのが、東大が減るのではと危惧していたのが、どちらも昨年比アップということで、胸を張っての報告でした。

中学入試で 2/1 に参入して 10 年目を迎え、六年間一貫指導の成果が着実に上がっていることを強調する説明でした。また、特に東大 20 名のうち 14 名が理系で東工大、医学部にもかなりの数を合格させているとの自負から、理系の指導に自信を持っていることを強調する内容でした。

指定校推薦も数十校から枠があるにもかかわらず、今年度は早稲田 6 名、慶應 1 名、上智 1 名に進学したぐらいで、ほとんどが一般入試で挑戦しているとのことでした。

**2、入学者選抜**

①推薦入試 実施せず。

②一般入試

大きく変化するのは、従来 2/11 の一日だけだったのが、来年度 2/11 と 12 の二日入試日を設ける点です。

|         | 第1回                                             | 第2回                                           |
|---------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 募集人員    | 60 名                                            | 30 名                                          |
| 試験日     | 2/11                                            | 2/12                                          |
| 試験時間・配点 | 英語 60 分・100 点<br>数学 60 分・100 点<br>国語 60 分・100 点 | 英語 80 分・140 点<br>数学 50 分・80 点<br>国語 50 分・80 点 |
| 合格発表    | 2/11                                            | 2/13                                          |
| 延納制度    | あり(公立発表日まで待つ)                                   | 検討中                                           |

夏期講習号 平成 22 年 6 月 30 日

二回目の入試で英語の配点・時間を増やし、英語力重視の入試を行うということですが、これは、大学合格実績のためには、英語のできる生徒が欲しいという明確な意思表示と言えます。中学での英語学習の重要性を裏付ける、高校側の本音が垣間見える制度変更です。入試問題は難易度を変えずに、英語は長文の分量や記述解答を増やし、逆に国・数は減らす措置を採るということでした。

2/12 と言えば、青山学院や明大明治、明大中野等の大学附属校の入試日と重なります。また同じ進学男子校の成城高校とも重なりますが、私立トップ校を狙う受験生の併願者を取り込もうという作戦でしょう。ただ、2/11 と 12 両日の複数回受験を認めるかどうかは現在検討中ということでした。

### 3、その他

城北は中学と高校の募集をしていますから、中学入試も含めて各科目の指導の内容、入試問題の意図等の説明もありました。各科目 10 分程度の説明があったのですが、英語の担当者だけ、ほんの一、二分で終わってしまい、高校入試での変更点の目玉である英語重視についての説明は皆無でした。今年から英語主任になったという先生でしたが、元気がないのが気になりました。

それに対して、理科の担当者はパワーポイントを利用した説明で、設定に時間がかかったのはご愛敬として、中学入試珍答案の紹介(ニワトリの足を四本描いた生徒が2割いた、魚の絵を描けという問題で四角い切り身を描いた生徒がいた)等で聴衆を引きつけた上で、「実験・観察を重視し、理科の指導に力を入れています！理系を目指す生徒をどんどん送り出して下さい！」という熱意が伝わる説明でした。

数学の説明では、中高共に計算力不足の生徒が目立つという指摘がありました。また中学社会の説明の中で、漢字の誤りが目立つという指摘もありました。また過去問と同様の問題を出題したにもかかわらず、正解率が高くなかったため、過去問の研究は、塾の方でも十分指導して戴きたいというお話もありました。

## 都立新宿高校

報告者 熊倉幹男

### 1、大学合格実績

東京大学に 8 年ぶりに合格者を出したということで教員の方が大変喜んでいました。大勢の合格者を出す高校も立派ではありますが、一人の合格者にこれだけ喜ぶという先生と生徒の距離感も良いものです。早稲田大学 57 名(現役 47 名)、慶應義塾大学 17 名(現役 9 名)、上智大学 7 名(現役 7 名)、東京理科大学 27 名(現役 15 名)、立教大学 50 名(現役 35 名)、明治大学 98 名(現役 65 名)合格は立派な結果と思います。特に現役の合格率が高いという印象でした。早稲田の合格者数については、都立高校で 5 番目で、重点指導校 7 校に食い込んでいる、青山高校より多いと自慢していましたが、早慶で合算すると順当な結果ではないかと思うのですが、自校に有利な集計を示すのも情熱の表れの一つととらえましょう。

### 2、入学者選抜

推薦入試男子 8.35 倍、女子 3.64 倍、全体で 4.39 倍。

一般入試男子 2.47 倍、女子 2.47 倍、全体で 2.47 倍。昨年より 0.1~0.2 倍増えています。単位制で男女の定員枠がありませんので、推薦入試は内申点の高い女子の合格者の方が多いようです(男子 17 名、女子 79 名の合格)。一般入試での合格者は男女ほぼ同数でした(男子 117 名、女子 113 名)。推薦入試の定員枠は全体の 3 割となっていますが、来年度は 2 割に減らす予定だということです。推薦入試で勝負にならない内申点の生徒には朗報です。

一般入試ですが、全体の平均点、合格者の平均点、得点分布図から類推したのですが、国語 63 点、数学 57 点、英語 80 点で 3 科 200 点。理科 85 点、社会 71 点で 5 科 356 点が合格基準と考えられます。3 教科については平均が 6 割を目標としているようですが、今年は英語が易しかったようです。「誰が問題をつくっているのですか。」と質問したら、「それにはお答えできません。」と当たり前前の答えが返ってきましたが、内部の職員だけでつくっていることは受け答えからわかりました。

### 3、その他

校舎の中は空調が行き届いていますし、廊下も階段も広くて明るく、とても良い雰囲気でした。すれ違う生徒からは「こんにちは」と挨拶されますし、公開授業の先生方はとても一生懸命に授業をされていました。今日は特別にお客さんが来る日だったからの対応かも知れませんが、それにしても良い印象でした。